

学校関係者評価委員 (敬称略)		
委員長	谷川陽一	福岡県立小倉商業高等学校 校長
委員	棟安正人	北九州ホテル協議会 会長
委員	佐藤 毅	公立大学法人九州歯科大学 歯学部 口腔保健学科 歯科衛生士育成ユニット 教授
委員	大森弘太郎	九州医療スポーツ専門学校同窓会 会長

<p>評定の意味</p> <p>4：適切に対応している。課題の発見に積極的で、今後さらに向上させるための意欲がある。</p> <p>3：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。</p> <p>2：対応が十分ではなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。</p> <p>1：全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。</p>

基準1. 教育理念・目的・育人人材像等				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 学校の教育理念・目標が明確であり、職業教育機関としての専修学校教育に必要とされる考え方や方針、内容等が具体的に示されている。また、各学科の教育目標も学校の理念・目標を受けて具体化を図る内容となっているとともに、教職員だけでなく学生への共有を図っている。	4.0
	棟安正人	4	明確な理念・目標であり、学生が将来社会人となった際にあるべき姿のイメージがし易い。併せて学校外への発信についても有効なものである。 資格試験全員合格は重要な目標である、ただその前段階で卒業率の向上も必要ではないか。諸事情あるかと思うが、学科によって率が大きく異なっている。卒業者が増えれば受験者が増え、更に合格者数増となり良いアピールになるのではないのでしょうか。	
	佐藤 毅	4	教育理念として、教養と医療人としての技術を備え、且つ、謙虚で誠実な精神を持つ人材の育成を目標として掲げています。この理念を基に、令和5年度は、授業の改善のための課題を明確にしてブラッシュアップする取り組み、資格試験合格率100%達成のための課題分析と対策、卒後進路の起業説明会の改善実施、シンポジウムの主催や地域との連携によるイベント開催等、重点目標を掲げて達成していることは高く評価できます。	
	大森弘太郎	4	授業研究会など実施して授業の改善など実施して資格試験の合格率の向上に図っていることや 学生の卒業後の進路に関しても積極的に改善をしていると感じました。	

基準 2. 学校運営				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 DX化も図られてきており、組織体制も明確にされているため、安心・安全な運営ができています。また、教務・財務等の意思決定システムも整備が進んでいる。	4.0
	棟安正人	4	学校の教育理念に沿った運営ということと、また法人理念も加味する考え方が物事を幅広く見ており俯瞰出来ている。 意思決定システムにおいて、権限を明確にして書面で稟議回覧とある。これが紙にハンコで回覧なのかシステムなのか、要は意思決定のスピードを上げる事が重要なので伺ってみたい。	
	佐藤 毅	4	運営方針を各職員・教員がきちんと把握するように文書を作成しています。事務・教務組織の整備のために管理者会議を定期的に行っており、人事考課のための適切な評価基準を設けているとしています。とくに評価制度を外部コンサルタントに依頼している点も良いと思います。個人的な提案ですが、教員同士、職員同士がお互いに評価をする360度評価を取り入れるのが良いのではないかと考えます。また、意思決定システムとして稟議書の回付を行っていること、情報システムを随時更新を検討していることも評価できます。	
	大森弘太郎	4	定期的な会議の実施や情報の吸い上げなど組織内での情報共有など実施できており、組織運営に関しても改正や手続きなど滞りなく実施できている。	

基準 3. 教育活動				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 各学科とも到達目標が明確にされており、授業シラバスにより授業目標・到達度評価等の内容が学生に周知されている。また、キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラム編成がされており、各学科とも工夫された学習内容・方向が位置付けられている。	3.8
	棟安正人	4	各課明確な目標設定がなされてるようで問題無し。 評価に関しても事前に基準を説明しており理解し易い。 評価後の振り返りが重要であるため、個別にフィードバックされているならベスト。	
	佐藤毅	4	通常の授業に加えて、特別講義・現場実習・担任による定期的進路相談の実施を行っており、各学科に適切な課題を検討して、サポート体制も充実させています。また、成績判定・修了認定も学科の特殊性を考慮して行われていると考えます。	
	大森弘太郎	4	各学科とも教育方針など細かくHPにも記載しており 保護者などの観点からでも、安心できる学校の方針だと思います。 整体学科のサロンシュミレーションなど郊外での実践など、卒業後に役立つ取り組みだと感じました。 柔整学科の臨床実習での症例報告の発表会なども、校外の方にも参加できる取り組みなども良いと感じます。	

基準4. 学修成果

平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.3	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 資格・検定等に関する目標が明確に提示されており、合格率の向上に向けての取組がなされている。その結果、進路選択の幅を広げ、就職率の向上につながっている。	3.4
	棟安正人	3	試験合格者はほぼほぼ就職に繋がっているようで問題無し。 そうすると先述したが受験者を増やす、更にその前に卒業者を増やす努力が必要では無いか。 卒業生の実態が把握出来ていないようなので調査したいところ、 学生達が将来の自分を描くのに必要なもの。卒業後就職した者の事情もあれば企業の事情もある、現役学生には気になるところ。	
	佐藤 毅	3	資格試験の合格率は看護学科と介護福祉科が低いため、これらの学科で成績低迷者への学習対策を練る必要があると考えます。就職率はいずれの学科も良好です。	
	大森弘太郎	3	歯科衛生士学科では求人倍率20倍と高い数値になっていると思う、その他の学科でも100%の就職を目指しているとあるが、実際はどのような状況なのかも気になるところです。 国家試験対策は各学科とも個別指導などを実施しており生徒に対しての取り組み体制も素晴らしいと思います。 歯科衛生学科では、卒業生の就職先と面会などの機会にがある際には、卒業生の状況などヒアリングや教員間での情報共有など良い取り組みだと思います。	

基準 5. 学生支援				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.5	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 学生の希望進路に寄り添いながら、ミスマッチのない進路実現に向けての取組が明確であり、保護者会等の実施に伴い、生徒・保護者等も安心して学習に臨める環境にある。	3.6
	棟安正人	4	学生の悩みの中で金銭的な問題は深刻、この問題での退学は避けたいところ。奨学金や負担軽減は有効なものである。 それ以外にもカウンセラーや担当教員の任命が来ているが、実際に悩んだ学生（成績不振や家庭環境）が相談しているのかを伺ってみたい。	
	佐藤 毅	3	就職進路相談への対応は適切になされています。各学科において、中途退学者への対応、保護者との連携、卒業生への対応は改善の余地があると考えます。	
	大森弘太郎	3	科により就職担当の先生などを配置して積極的に支援している学科もあるようで良いと思う。 就職説明会の活用など学科によっても異なる事例もあるようで学校全体としても、方向性があるのか気になるところではあります。 学科によって就職経路や就職方法が異なるの事など 中途退学の取り組みで、歯科衛生士学科の『非認知能力ベースライン調査』が効果的であれば他の学科でも取り入れも良いのかとも思いました。 日本語学科など留学生への対応などサポート体制が強化されて学業に専念できる取り組みができればより良いですね 具体的な案は浮かびませんが、今後の教育に重要なポイントだとも思います。	

基準 6. 教育環境				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
3.8	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 各学科とも、教育上必要となる施設・設備が十分整備されている。加えて適宜必要となる機材・備品の確保もされており、生徒にとって、安心・安全な教育環境となっている。また、学外の実習施設、インターンシップ、海外研修等についても十分な教育体制が整備されており、学生は、将来の夢に向かって、充実した実習を受けることができている。	3.5
	棟安正人	4	指定規則や指導ガイドラインに即した環境が整えられているようで問題無い。ただ時代に応じた最新器具など、一部の学部で不足があるようなので投資見合いもあるが検討願います。	
	佐藤 毅	3	教育施設や設備については特に問題はないと思います。学外実習の充実を図る必要はあると考えます。また、防災に関して、防火責任者の選任は危機管理上、早急な対応が望ましいと思われまます。	
	大森弘太郎	4	ほとんどの学科で環境は良いようだが一部では、必要な物などもあるようなので、その学科のみ個別にヒアリングなども必要かと感じました。	

基準 7. 学生の募集と受入れ				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 育成人材像、特徴、目指す資格・免許等の内容を高等学校等にわかりやすく紹介しているため、適切な情報提供がなされている。また、入学選考基準が明確化されているため、適切な生徒募集活動が行われている。さらに入学者辞退への授業料等についても募集要項に明示されているため、適正な取扱いを行っている。	4.0
	棟安正人	4	学生募集は今まで通り行って欲しい。 コロナウィルス感染症後の企業の採用状況は厳しいものがあり人材の確保に必死、専門学校においてもまず十分な基礎知識を学んでからの就職が重要である旨をアピールして欲しい。特に国家試験認定者の価値の高さは発信に有効である。	
	佐藤 毅	4	学生募集および受け入れについては、充実していると考えます。入学選考に関しても問題はないと思います。	
	大森弘太郎	4	WEB出願など新たな取り組みなどもしており 学生の受け入れ態勢も変化しており良いと思います。	

基準 8. 財 務				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 予算編成に際して、会計士を含めた確認体制が確率されており、教育目標、中期計画、事業計画等の整合性が図られている。また、財務公開規定に伴い、公開が適切にされている。	4.0
	棟安正人	4	中長期的な目線、外部コンサル、監査報告など適切な体制が取れている。	
	佐藤 毅	4	財務管理についても、予算・収支計画が適切に行われているので問題はないと考えます。監査、情報公開の点でも問題はないと考えます。	
	大森弘太郎	4	問題ないと感じました。	

基準 9. 法令の遵守				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 学校関係者評価の結果に基づき、学校評価（自己評価報告書）が適切に公開されている。 個人情報保護に関しては、進化する不正アクセスに対するセキュリティ教科の必要性等、危機感をもって対応されている。	3.8
	棟安正人	4	法令遵守の重要性を認識し適切に行っている。 学生が社会に出た際にも最低限必要なルールである。	
	佐藤 毅	4	関係法令、設備基準、個人情報保護、教育情報の公開については適切に行われていると考えます。学校評価はP D C Aサイクルを活用して前年度の課題に対する取り組みの見直しを図っているとのこと で今後の改善に期待したいと思います。	
	大森弘太郎	4	定期的な監査などもあり、問題ないと感じます。 学生の個人情報などSNSなどの対応も今後、強化をしていく必要もありそうです。	

基準10. 社会貢献・地域貢献				
平均評定	委員氏名	評定	意見	自己評価
4.0	谷川陽一	4	適切に評価がされている。 高等学校等へのトレーニング指導等に、各学科の教員の知識や技術等の教育資源や施設を活用しており、社会貢献を積極的に行っている。 留学生の受入れや海外への留学における学習支援・生活指導等について説明されており、適切な情報提供が行われている。	4.0
	棟安正人	4	社会貢献・地域貢献に関しては近年様々な所で重要視されている。一般企業ではこの意識がないと選ばれないほど。 出来る事が限られていたとしても、教職員並び学生の意識改革が必要となってくる。	
	佐藤 毅	4	高等学校へのトレーニング指導、海外教育機関学生の研修受け入れ、ボランティア活動等も充実させているので、高く評価できると考えます。	
	大森弘太郎	4	問題ないと感じます。	

総 括				
	委員氏名		意見	
3.9	谷川陽一		適切に評価がされている。 学校の教育理念・目標に基づいて、昨年度までの改善点を修正し、適宜解決を図りながら教育活動の充実に向けて取り組まれており、この姿勢が地域社会からの信用につながっている。 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立って、カリキュラムが編成されており、工夫された学習内容・方法も位置付けられているため、将来の夢の実現に向けて、とても魅力的な学校となっている。	3.8
	棟安正人		概ね問題無い運営が出来ていると感じます。 教育理念は私どもホテルや旅館で重んじていることそのものです。 近年学生は多様な考え方を致します、学校側も時代に合わせた取り組みを継続することが重要です。 学生が社会に出てからも通用するよう、生涯学習の基礎が学べる場所として頂きたいと考えます。	
	佐藤 毅		各項目に関して、問題点を抽出して適切な対応を検討していると考えます。したがって、概ね高い評価が得られてよいと思います。	
	大森弘太郎		学科により、先生の取り組み姿勢の違いなどありますが概ね、学校の教育方針に沿って活動できていると感じております。	